

平成29年度第2回山縣市公共交通会議 議事概要

日 時 平成29年11月28日（火）午後2時00分～

場 所 山縣市役所 3階 大会議室

報告事項

1. 前回からの経過報告

○事務局からの説明

- ・土日祝日限定ワンデーフリー乗車券について

協議事項

以下の事項について協議した。

1. 山縣市地域公共交通網形成計画の策定について

○事務局からの説明

- ・山縣市地域公共交通網形成計画（案）の前回会議からの修正点
- ・山縣市地域公共交通網形成計画（案）に対するパブリックコメントの意見及び市の考え方について

○委員からの意見・提案等

- ・地域公共交通網形成計画は、市にとって望ましい将来の公共交通の姿を描く重要な計画である。毎年度見直しを行い、スパイラルアップに努めていただきたい。
- ・デマンド型交通について、予約をすれば来てくれるため利便性向上というメリットはあるが、予約を受けるオペレーターの雇用や予約のない時間にも人を確保する必要があるなどデメリットも存在する。試験運行を実施するなど、状況を見ながら十分な検討をしていただきたい。
- ・近年は、インターネット上での情報提供が重要である。観光の観点からも、「公共交通ネットワークの見える化」に取り組んでいただきたい。
- ・バスターミナル建設に伴う大幅な路線変更が検討される山縣市では、住民の意識を変えていくためにもモビリティマネジメントが重要である。
- ・バスターミナル付近に無料の駐車場、駐輪場を整備することで、バス利用者以外の方が別目的で駐車場・駐輪場を利用することが想定されるため、対応が必要である。
- ・体験乗車会を実施する場合は、既存路線の体験と公共交通の理解を深めるようなイベントを検討していただきたい。
- ・評価指標1の「年間乗車人数」については、今後計画の見直しをするときの参考にもなるため、路線別の目標値設定の考え方を計画に追記すべき。

- ・美山地区住民は、バスターミナルの整備により岐北厚生病院や岐阜駅まで行くのに必ず乗り換えが必要になるのではないかと心配している。

→事務局で一部修正を行い、修正点の確認は会長と副会長に一任された。

2. 地域内フィーダー系統確保維持計画の変更申請について

○事務局からの説明

- ・変更申請の要旨
- ・変更後の生活交通確保維持改善計画について

→事務局で一部修正を行い、修正点の確認は会長と副会長に一任された。

総評

○秋山副会長

- ・山口市公共交通網計画（案）のとおり、路線ごとに様々な特徴があるため、統一的な議論よりもそれぞれの地域でしっかり意見を聞いて、各地域の実情に合わせたバス路線を検討していただきたい。
- ・計画を作るときは、議論を積み重ね細部までつめていくが、完成後の見直しや地域との議論がうまくいかず計画が実現できないケースがあるため、そのあたりはしっかり対応して欲しい。
- ・これからは実際に利用している方々の意見をどのようにまとめるかが重要であり、計画を実行していくためのより良い方法を今後考えていく必要がある。

以上